

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第2回産学連携推進員育成講座開発委員会
開催日時	令和7年8月27日(水) 15:00~17:00
場所	オンライン
出席者	委員：柳田 祐大、森川 和哉、三村 隆男、石田 哲也 林 透、土井 宏美、伊藤 政幸、久代 英俊 計8名 オブザーバ：岡村 慎一 計1名 請負業者：飯塚 正成 計1名 合計10名
議題等	<p>1. 委員会開催概要</p> <p>本委員会は、令和7年度事業の一環として実施される「産学連携推進員育成講座（基礎編・上位編）」の円滑な運営に向け、以下の3点を中心に協議する目的で開催された。</p> <p>(1) 9月開催の基礎編研修の最終準備・役割分担・動員状況の確認</p> <p>(2) 11月開催予定の上位編（名称・内容）の設計確定</p> <p>(3) 評価票・認定スキーム等の持続可能な運用体制の検討</p> <p>2. 9月研修（基礎編）の最終確認</p> <p>(1) 実施日・会場・形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日：9月25日(木)・26日(金) ・ 昨年度と同じタイムテーブルとし、初日12:30集合~17:00、2日目は8:50受付~13:00頃終了を予定。 ・ 会場：穴吹医療専門学校(香川県) ※森川委員が引き続き調整。 ・ 受講者はPC持参。Google/Driveにアクセスし、事前課題は講座2週間前までに配信する。 <p>(2) 運営体制・役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：キャリアリンク(小池氏・木根氏)の2名体制。 ・ 委員側運営：柳田、森川、石田、飯塚 ・ 受付：石破(事務局)。

	<p>(3) 集客状況・動員</p> <ul style="list-style-type: none">・ 8月27日時点の申込は2名。定員20名に対し大きく不足しているが、「最小催行人数を設けず実施する」方針は維持する。・ 再周知先：前専会員校 ML、会員専用 HP (8/18 掲出)、Slack、TC 財団経由リスト。・ 追加動員策：岡山・高知・香川地域ネットワークを中心に委員が個別に働きかける。岡山ルートも活用する。・ 目標：10名以上の受講者を確保する。 <p>(4) リスクと対応</p> <ul style="list-style-type: none">・ 集客不足 → 委員による再周知徹底。・ 職務都合上の不在 → 柳田委員離席時間への対応を調整。・ 旅費・手続き → Slack にて事務局が案内済。各自申請を進める。 <p>3. 11月研修（上位編）に関する協議</p> <p>(1) 名称決定</p> <ul style="list-style-type: none">・ 複数案から議論の末、「産学連携推進リーダー（養成講座）」に決定した。 <p>(2) 目的・対象</p> <ul style="list-style-type: none">・ 9月基礎編の内容を「自校で講師として実施できるレベル」に引き上げる人材を育成することが目的。・ 成果物持ち帰りを重視し、受講後に 自校向け研修の実施 を可能にする。・ 対象は、今年度の基礎編受講者および昨年度基礎編修了者。9月受講者が全員 11月へ進むとは限らない点を踏まえ、説明と誘導を行う。 <p>(3) 講座の構成案</p> <p>以下のフェーズ構成が示され、概ね了承された。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基礎編（9月受講）基礎編の理解と前提知識を担保する。・ 集合研修1（11月前半）基礎編全体設計の理解 各ワークの意図・注意点を講師目線で確認 講師として必要な資質（ファシリテーション、合意形成など）の明確化自校向けにスライドをアレンジする演習・ 集合研修2（11月後半）自校での研修実施計画の立案（計画表・運営ツール） 実施に向けた具体的準備の作成
--	---

	<ul style="list-style-type: none">・実践～評価（11月以降～年度末） 自校で伝達研修を実施共通評価票を用いた自己評価・観察者評価 リフレクションレポート提出 <p>(4) 評価・認定スキーム</p> <ul style="list-style-type: none">・「落とす」ための評価ではなく、育成と振り返りを重視。・同一評価票を講師本人と評価者（観察者）が使用し、評価のズレを内省材料とする。・評価者は自校の上席者（校長等）または推進リーダーを想定。・認定スキームとしては、<ul style="list-style-type: none">一次：自校または地区レベルでの認定二次：前専など上位機関での認可の二段階モデル案を提示。継続性・外部展開も視野に検討する。 <p>4. 今後の協議等</p> <p>(1) 10月2日 上位委員会で付議</p> <p>以下の事項を上位委員会へ提出し、協議する：</p> <ul style="list-style-type: none">・認定主体（自校認定か、上位機関による認可か）・二段階方式の可否・将来の地域展開・外部提供の方針・継続性の担保方法 <p>(2) 10月15日 第3回委員会（原則対面＋オンライン併用）</p> <p>上位委員会での協議結果を共有</p> <ul style="list-style-type: none">・11月講座の最終設計（教材・評価票・レポートフォーム）を確定・会場は都内山手線圏内で調整（会場費高騰のため代替案も検討） <p>(3) その後の委員会日程</p> <ul style="list-style-type: none">・12月17日（水）15:00 第4回委員会・1月14日（水）15:00 第5回委員会
配布資料	